

# 第46回日本アルコール関連問題学会

9月19日(木) 第1会場 [淀・信濃(1F)]

13:10-14:10 特別講演1 PSL1

座長：松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

**PSL1** カジノ・ギャンブルの広がりを経済的社会的影響について  
鳥畑 与一 (静岡大学名誉教授)  
日本公共政策学会

9月19日(木) 第1会場 [淀・信濃(1F)]

9:20-10:50 シンポジウム1 PS1

アルコール健康障害対策基本法シンポジウム

オーガナイザー：松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

座長：松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)  
猪野 亜朗 (泊ファミリークリニック)

指定発言：今成 知美 (特定非営利活動法人ASK)  
大槻 元 (全日本断酒連盟)

**PS1-1** アルコール健康障害対策基本法の現状とこれから  
田中 増郎  
厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課 依存症対策推進室

**PS1-2** 「SBIRTS」～基本法成立後の自助グループギャップ～  
和気 浩三  
新生会病院

**PS1-3** アルコール健康障害対策の現状とこれから  
遠山 朋海<sup>1)</sup>、松下 幸生<sup>1)</sup>、新田 千絵<sup>1,2)</sup>、古賀 佳樹<sup>1)</sup>、木村 充<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立病院機構久里浜医療センター <sup>2)</sup>筑波大学医学医療系地域総合診療医学

**PS1-4** 飲酒と健康リスク  
池原 賢代  
大阪大学大学院医学系研究科

## 9月19日(木) 第3会場 [穂高 (3F)]

## 13:10-14:40 シンポジウム2 PS2

## 女性の健康とアルコール問題

オーガナイザー：新田 千枝 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター / 筑波大学医学医療系)

座長：新田 千枝 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター / 筑波大学医学医療系)

## PS2-1

## わが国の女性の飲酒実態 ～ハイリスク飲酒との関連要因～

新田 千枝<sup>1,2)</sup>、遠山 朋海<sup>1)</sup>、古賀 佳樹<sup>1)</sup>、柴崎 萌未<sup>1)</sup>、伊東 寛哲<sup>1)</sup>、木村 充<sup>1)</sup>、松下 幸生<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター <sup>2)</sup> 筑波大学医学医療系

## PS2-2

アルコールが女性の心身の健康に与える影響  
～アルコール低減外来の女性患者の治療経過を含めて

斉藤 剛<sup>1,2)</sup>、吉本 尚<sup>1,2,3)</sup>

<sup>1)</sup> 筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター <sup>2)</sup> 筑波大学附属病院 総合診療科

<sup>3)</sup> 筑波大学医学医療系 地域総合診療医学

## PS2-3

## 女性の妊娠から子育て期における飲酒とその支援を考える

望月 明見

大手前大学国際看護学部

## PS2-4

## 女性受刑者における依存の問題について

道重 さおり

神戸学院大学心理学部

## 9月19日(木) 第3会場 [穂高 (3F)]

## 14:50-16:20 シンポジウム3 PS3

## ゲーム行動症への様々なアプローチ

オーガナイザー：三原 聡子 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

座長：樋口 進 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

松崎 尊信 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

## PS3-1

## 児童精神医学におけるゲーム行動症へのアプローチ

館農 勝<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup> 特定医療法人さっぽろ悠心の郷・ときわ病院 <sup>2)</sup> 札幌医科大学附属病院神経精神科こどもメンタルクリニック

## PS3-2

治徳 大介

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野 (サイバー精神医学講座)

## PS3-3

## 多職種チームで取り組む楽しくユニークなアプローチ

村山 裕子、大越 拓郎、高橋 慧、井出 真斗、樋掛 尚文、早津 さやか、青木 梨恵、佐久間 寛之

独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター

**PS3-4**      **ゲーム行動症の家族支援**  
吉田 精次  
社会医療法人あいざと会藍里病院

**PS3-5**      **久里浜医療センターにおけるゲーム行動症への治療の現状から考える今後の方向性**  
三原 聡子、北湯口 孝、西村 光太郎、松崎 尊信、松下 幸生、樋口 進  
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

**9月19日(木) 第4会場 [六甲(3F)]**

**9:20-10:50 シンポジウム4 [PS4]**

**アディクションシーンの最前線**

オーガナイザー：佐久間 寛之 (独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター)  
手塚 幸雄 (医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院)

座長：手塚 幸雄 (医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院)  
射場 亜希子 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター)

**PS4-1**      **依存者が本当に依存しているものはなにか — 病みながら生きるこの意味から考える —**  
市川 岳仁  
1) 三重ダルク 2) 立命館大学大学院人間科学研究科博士後期課程

**PS4-2**      **アディクションの最前線シーン あきやま病院の挑戦**  
福田 貴博、前田 大輝、植田 秀孝、円能寺 哲、大野原 尚哉  
医療法人見松会あきやま病院

**PS4-3**      **図書館も自助グループも病院も。アディクションフォーラムから始まる他機関連携**  
宮内 砂緒里<sup>1)</sup>、政木 舞子<sup>2)</sup>、入交 洋彦<sup>3)</sup>、田岡 聡<sup>4)</sup>、山崎 正雄<sup>5)</sup>  
高知県立精神保健福祉センター

**PS4-4**      **ゲーム行動症の外来治療 プログラムははじめました**  
松口 和憲、戸敷 和浩、川合 優子、長 祥子、奥山 沙耶、田中 英幸、宮本 真澄、藤田 章裕、  
重松 雅、白石 一登、鬼丸 めぐみ、山元 裕子、豊田 千佳、辻 浩子、渡辺 堅斗  
独立行政法人国立病院肥前精神医療センター

**PS4-5**      **シンポジウム：アディクションシーンの最前線**  
**アディクションと司法の交差点：刑事手続きを通じてより良い生き方を考える**  
菅原 直美  
吉祥寺リネン法律事務所 弁護士

**PS4-6**      **「とらわれ」の鎧を脱いで、未知の旅に出よう**  
西念 奈津江<sup>1,2)</sup>  
1) 北陸HIV情報センター 2) HARP (北陸アディクションリカバリーパートナーズ)

## 9月19日(木) 第4会場 [六甲(3F)]

## 11:10-12:40 シンポジウム5 PS5

## 看護師の分科会 これからのアディクション看護 ～看護の多様性と連携について問う～

オーガナイザー： 葦澤 博一 (成増厚生病院、東京アルコール医療総合センター)

座長： 葦澤 博一 (成増厚生病院、東京アルコール医療総合センター)

江刺家 潤哉 (あべクリニック)

## PS5-1

## これからのアディクション看護

高田 和久

特定非営利活動法人 ジャパンマック

## PS5-2

## 依存症専門の訪問看護ステーションを開業してみよう

伊波 陽

特定非営利活動法人 Alma 訪問看護ステーション アンテリア

## PS5-3

## これからのアディクション看護を考える

—総合病院のリエゾン精神看護専門看護師としての経験から—

佐藤 寧子<sup>1,2,3)</sup>

<sup>1)</sup> 慶應義塾大学SFC研究所 <sup>2)</sup> 大阪大学大学院医学系研究科 <sup>3)</sup> 淀川キリスト教病院

9月20日金 第1会場 [淀・信濃(1F)]

10:40-11:40 特別講演2 PSL2

座長：松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

**PSL2** 愛着外傷とメンタライジング –嗜癖の背景にある生きづらさに光を届ける対話的關係–  
崔 炯仁  
いわくら病院

9月20日金 第1会場 [淀・信濃(1F)]

9:00-10:30 シンポジウム6 PS6

処方薬・市販薬使用障害「オーバードーズ」をどう治療するか

オーガナイザー：成瀬 暢也 (埼玉県立精神医療センター)

座長：松本 俊彦 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)  
成瀬 暢也 (埼玉県立精神医療センター)

**PS6-1** 薬物依存症臨床から見た医薬品乱用・依存の実態と治療上の課題  
松本 俊彦  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

**PS6-2** 処方薬・市販薬使用障害の外来治療  
成瀬 暢也  
埼玉県立精神医療センター

**PS6-3** 処方薬・市販薬使用障害の入院治療 –オーバードーズ患者の入院治療を中心に  
合川 勇三  
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター

**PS6-4** ダルクに何ができるのか  
秋元 恵一郎  
特定非営利活動法人東京ダルク

## 9月20日(金) 第2会場 [木曽(1F)]

## 14:50-16:20 シンポジウム7 [PS7]

## 多職種×作業療法のコラボレーション

オーガナイザー：小砂 哲太郎 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

座長：小砂 哲太郎 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

池田 望 (札幌医科大学)

## PS7-1 新生会病院における作業療法部門の立ち上げと診療部門との連携

奥埜 祥隆、和気 浩三

医療法人和気会 新生会病院

## PS7-2 多職種と作業療法を实践する

天野 良文<sup>1)</sup>、阿部 貴子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>成増厚生病院 作業療法室 <sup>2)</sup>成増厚生病院 A1病棟

## PS7-3 SW・CP・OTの連携 ～岡山県精神科医療センターの実践から～

佐藤 嘉孝、岡崎 こず枝、牧野 史奈

地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター

## 9月20日(金) 第4会場 [六甲(3F)]

## 9:00-10:30 シンポジウム8 [PS8]

## WEBワークショップ「アルコール依存症実践塾」の歩み

オーガナイザー：齋藤 利和 (社会医療法人博友会 平岸病院)

座長：齋藤 利和 (社会医療法人博友会 平岸病院)

佐久間 寛之 (独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター)

## PS8-1 アルコール依存症実践塾2年半の歩みと私たちの変身

伊藤 美幸、酒井 沙紀、齋藤 利和

社会医療法人博友会平岸病院

## PS8-2 総合病院で「ひとりぼっち」にならないアルコール依存症実践塾の知恵

常田 深雪

手稲溪仁会病院精神保健科

## PS8-3 臨床実践に関するチューニングの場

射場 亜希子

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

## PS8-4 アルコール依存症実践塾を通じた学び、そして仲間とのつながり

阿部 かおり

独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター

9月20日(金) 第4会場 [六甲(3F)]

10:40-12:10 シンポジウム9 [PS9]

失敗から学んだ依存症臨床 ～痛みを成長の糧に変える～

オーガナイザー：阿部 かおり (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)  
長 徹二 (旭川医大)

座長：小林 桜児 (神奈川県立精神医療センター)  
阿部 かおり (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

**PS9-1** 失敗？全ては捉え方次第  
～どんな状況からも喜びを拾い上げ笑って暮らす才能を誰もが持っている～  
前田 大輝  
医療法人 見松会 あきやま病院

**PS9-2** シンポジウム「失敗から学んだ依存症臨床 ～痛みを成長の糧に変える～」  
—女性クライアントとの関係から—  
佐久間 みのり  
独立行政法人国立病院機構 さいがた医療センター

**PS9-3** 患者理解と多職種連携に関するアルコール依存症診療の経験の共有  
桂木 賢太郎<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup> 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 (精神医学) <sup>2)</sup> 公立豊岡病院組合立 豊岡病院

**PS9-4** 「人を大切にする」依存症臨床  
入来 晃久  
大阪精神医療センター

9月20日(金) 第4会場 [六甲(3F)]

13:10-14:40 シンポジウム10 [PS10]

ギャンブル障害

オーガナイザー：松崎 尊信 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)  
座長：松崎 尊信 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

**PS10-1** ギャンブル障害の脳画像研究  
藤野 純也<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup> 東京医科歯科大学 精神行動医学分野 <sup>2)</sup> 昭和大学 発達障害医療研究所

**PS10-2** 久里浜医療センターにおけるギャンブル依存症外来受診患者の変遷と今後の展望  
西村 光太郎、岡田 瞳、古野 悟史、岩本 亜希子、高山 輝大、知念 成美、楠 大介、松崎 尊信、  
松下 幸生、樋口 進  
独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

**PS10-3** 全国国民調査におけるギャンブル障害の実態  
古賀 佳樹<sup>1)</sup>、浦山 悠子<sup>1)</sup>、柴山 笑凜<sup>1,2)</sup>、新田 千枝<sup>1,3)</sup>、木村 充<sup>1)</sup>、遠山 朋海<sup>1)</sup>、松崎 尊信<sup>1)</sup>、  
西村 光太郎<sup>1)</sup>、柴崎 萌未<sup>1)</sup>、松下 幸生<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 国立病院機構 久里浜医療センター <sup>2)</sup> 東京大学大学院 教育学研究科 <sup>3)</sup> 筑波大学 医学医療系

第46回日本アルコール関連問題学会  
9月19日(木)  
9月20日(金)  
9月21日(土)

**PS10-4** GAMBOT研究：チャットボットを用いたギャンブル 障害支援の進化と臨床評価  
 宋 龍平  
 岡山県精神科医療センター

**9月20日(金) 第3会場 [穂高(3F)]**

**14:50-17:50 ワークショップ1 [PWS1]**

『問題解決しない事例検討会』リターンズ  
 ～クライアントのとらえ直しと地域連携、そして支援者支援～

オーガナイザー：佐久間 寛之 (独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター)  
 伊東 寛哲 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

座長：松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)  
 佐久間 寛之 (独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター)

**PWS1-1** 『問題解決しない事例検討会』からみえてくるものーわたしたちは何を指すのかー

西念 奈津江<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup>北陸HIV情報センター <sup>2)</sup>HARP (北陸アディクションリカバリーパートナーズ)

**PWS1-2** 問題解決しない事例検討会：長崎から実践報告

福田 貴博

医療法人見松会あきやま病院

**PWS1-3** 『問題解決しない事例検討会』沖縄モデルの実践報告

手塚 幸雄<sup>1)</sup>、幸地 睦子<sup>1)</sup>、石川 章旗<sup>1)</sup>、杉浦 彩乃<sup>1)</sup>、長友 博之<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup>沖縄リハビリテーションセンター病院 <sup>2)</sup>奏・相談事業所

**PWS1-4** 『問題解決しない事例検討会』リターンズ

～クライアントのとらえ直しと地域連携、そして支援者支援

阿部 かおり

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

9月21日(土) 第2会場 [木曾(1F)]

10:40-12:10 シンポジウム11 PS11

アルコール依存症治療における精神科と内科の連携

オーガナイザー：松下 幸生 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)  
木村 充 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

PS11-1 出張アルコール外来の取り組み

福田 貴博  
医療法人見松会あきやま病院

PS11-2 依存症専門医療機関から総合病院に医師が出張しリエゾン診療を行う「架け橋モデル」

手塚 幸雄  
沖縄リハビリテーションセンター病院

PS11-3 広島県における精神科と内科等が連携したアルコール依存症等の依存症治療

加賀谷 有行<sup>1,2,3,4)</sup>  
1) よこがわ駅前クリニック・院長 2) 瀬野川病院KONUMA記念依存とこころの研究所・所長  
3) 広島市医師会・常任理事 4) 広島産業保健総合支援センター・産業保健相談員(メンタルヘルス)

PS11-4 かかりつけ医のアルコール診療

井上 雅公  
杉谷診療所

9月21日(土) 第2会場 [木曾(1F)]

13:30-15:00 シンポジウム12 PS12

「こども家庭」とアディクションを考える：動き出したこども家庭支援

オーガナイザー：稗田 里香 (東京通信大学人間福祉学部)  
前園 真毅 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

座長：岡崎 直人 (日本福祉教育専門学校)  
稗田 里香 (東京通信大学人間福祉学部)

PS12-1 アディクションの問題のある家庭のこどもとソーシャルワーク(概論)

山本 由紀  
国際医療福祉大学/遠藤嗜癖問題相談室

PS12-2 よりよい今を～母という名の女性の回復からみえてくること～

橋本 久美子  
社会福祉法人東京蒼生会 母子生活施設ポルテあすなろ

PS12-3 依存症の回復と子育て支援

永尾 奈生実  
赤城高原ホスピタル

PS12-4 ライフストーリーから子ども家庭支援について考える

風間 暁  
1) 特定非営利活動法人ASK 社会対策部 2) 北里大学 医療衛生学部 社会系医療学

## 9月21日(土) 第5会場 [立山(3F)]

## 13:50-15:20 シンポジウム13 PS13

## 保健師シンポジウム

オーガナイザー：米山 奈奈子 (秋田大学)  
吉岡 幸子 (八戸学院大学)

座長：米山 奈奈子 (秋田大学)  
吉岡 幸子 (八戸学院大学)

## PS13-1 保健所と共に歩む依存症相談支援

高橋 香苗<sup>1)</sup>、藤垣 聖子<sup>1)</sup>、児玉 絵里子<sup>1)</sup>、三浦 亜矢子<sup>1)</sup>、三浦 敦子<sup>1)</sup>、佐藤 真紀子<sup>1)</sup>、  
佐藤 玲子<sup>2)</sup>、小松 広美<sup>1)</sup>、鈴木 稔<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>秋田県子ども・女性・障害者相談センター 精神保健福祉部 <sup>2)</sup>福祉相談・連携推進部

## PS13-2 「アルコール依存症 家族教室」開催に至るまでのプロセス

渋谷 彩夏、清野 茜  
川口市保健所疾病対策課精神保健係

## 9月21日(土) 第4会場 [六甲(3F)]

## 9:00-12:00 ワークショップ2 PWS2

## 心理職ワークショップ「トラウマとアディクション：松本俊彦・信田さよ子対談」

オーガナイザー：三原 聡子 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

座長：三原 聡子 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

## PWS2-1 トラウマとアディクションからの回復のために何が必要か？

松本 俊彦  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

## PWS2-2 アディクションと底つき (松本俊彦氏との対談)

信田 さよ子  
原宿カウンセリングセンター

## 13:00-15:00 ワークショップ2 PWS2

## 心理職ワークショップ「トラウマのケアワークショップ」

座長：三原 聡子 (独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター)

## PWS2-3 トラウマ反応の見立てと介入計画

菊池 安希子  
武蔵野大学 人間科学部